

三重のキャリア教育を支える皆さんへ

多様な主体による

三重のキャリア教育の推進のために

「学ぶこと」「働くこと」「生きること」  
3つを結ぶキャリア教育

Working

Living

Learning

三重県教育委員会

平成27年3月発行

本リーフレットは、文部科学省の事業を活用して設置している「三重県キャリア教育支援協議会（構成：三重県商工会議所連合会／三重県経営者協会／三重労働局／三重県産業教育振興会／三重大学地域戦略センター／特定非営利活動法人 a trio／三重県雇用経済部／三重県教育委員会）」の協力により作成しています。三重県キャリア教育支援協議会では、子どもたちが地域・事業所に対する理解を深め、社会的・職業的自立に向けてスキルアップする機会を設けることにより、三重の担い手育成を進めています。

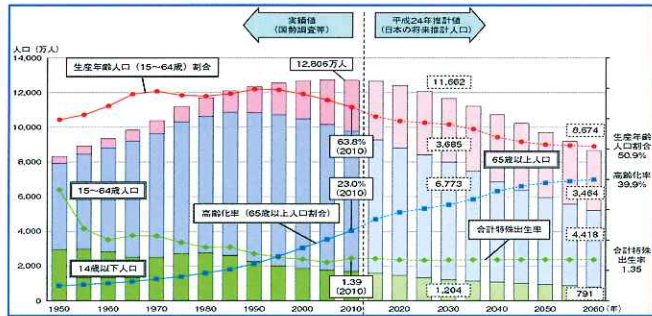


# 今、なぜ地域ぐるみのキャリア教育が必要なのか

## 子どもたちを取り巻く社会は変化している！

現在、日本は生産年齢人口の急激な減少やグローバル化等により、産業や社会の変化が大きい時代を迎えています。こうした時代を生きる子どもたちには、変化を乗り越え、他者と協働しながら、未来を切り拓く力を身に付けることが求められています。

日本の将来推計人口（平成24年1月集計）



（出典）総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）；出生中位・死亡中位推計」（各年10月1日現在人口）、厚生労働省「人口動態統計」

## 地域での体験の充実が期待されている！

「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」（文部科学省：平成24年）によると、約3割の高校生が「自分がどのような職業に向いているかわからない。」と答えています。



また、中学校と高等学校の卒業生を対象に「将来の生き方や進路について考えるためにもっと実施してほしい体験活動」を質問したところ、就業体験（※）と答えた割合が最も高くなっています。



中高生の保護者対象の調査でも、就業体験を「有意義な学習だと思う。」と回答している保護者が多く、地域での体験の充実が期待されています。

※就業体験：職場体験やインターンシップ等の体験

体験をとおして社会の変化に対応できる子どもたちを育てましょう。

# キャリア教育を支える三重の強み

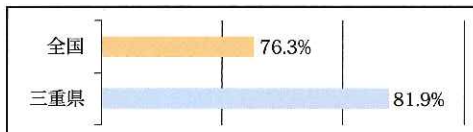
## 三重にはキャリア教育の心強い応援団が、たくさんいます！

### 学校の授業に地域の多くの人々が携わっている！

#### 地域人材の活用

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果から、三重県は全国と比較して、地域の人材を外部講師として授業を行った学校の割合が高くなっています。

地域の人材を活用している学校の割合（小学校）



（出典）文部科学省「平成26年度全国学力・学習状況調査」

### 地域のキャリア教育を議論する場がある！

#### キャリア教育推進地域連携会議

県内各地域で、小中高等学校、企業、経済団体、行政機関等がキャリア教育の推進方策や地域を担う人材の育成に関する意見交換を定期的に行っています。



#### 意見交換のテーマの一例

- 地域を担う人材の育成に向けた連携の強化

### 学校と地元企業をつなぐコーディネーターがいる！

#### 学校・企業の情報交換会

子どもたちが地元企業の魅力を知る機会や、教職員と企業の担当者が人材育成について情報交換をする場づくりが進んでいます。



#### 県内の取組の一例

- 産・学就職情報交流会（三重県経営者協会）
- 高校内企業説明会（三重労働局）
- 就職情報交換会（各商工会議所）
- 広域公募型インターンシップ（NPO法人 a trio）

### 就業体験の受入基盤が充実している！

#### 三重県Webページ「受入事業所の案内」の開設

三重県教育委員会では、中学校・高等学校の就業体験の拡充を図るために、Webページ「三重県職場体験・インターンシップ受入事業所の案内」を開設しています。平成27年3月末現在、約1,700事業所に登録いただいております。地域別・業種職種別に検索することができます。



<http://www.internship.pref.mie.lg.jp/>



# 地域が応援する三重のキャリア教育

身近なキャリアモデルとの出会い

## ◆ 三重県版ようこそ先輩 ◆

三重県版ようこそ先輩とは・・・

子どもたちにとって身近な人生の先輩である卒業生等が、地域社会で活躍している様子や働くことへの思いについて子どもたちと対話する取組です。

### 活動の成果

- 働くことへの関心・意欲を高めることにつながります。
- 現在の学びが将来につながっていることに気付くことにより学習意欲が向上します。
- 将来の夢や目標が見えてきます。

身近な先輩の活躍している様子や働くことへの思いを知り、自分と重ねて将来の在り方生き方を考えます。

授業を受けた子どもの声

小学生

色々な壁があっても、頑張れば乗り越えられるという話を聞いて、私も頑張りたいと思いました。

中学生

将来がイメージできました。自分の好きなことや得意なことを生かせる仕事を調べてみたいです。

高校生

プロ、職人のすごさを実感することができました。今回のことを自分の将来に生かしたいです。



## 働く大人の思いを肌で感じる「しごと密着体験」

## ◆ しごと密着体験 ◆

しごと密着体験とは・・・

子どもたちが、地域の事業所で働く人に密着し、「仕事に対する姿勢」や「職場の様子」等を観察することで、働くことについて深く考える活動です。

### 活動の成果

- 働く人の仕事に対する思いを感じ取ることで、将来の職業選択に役立ちます。
- 職業の幅の広さに気付くことができます。
- 希望の職業に就くために、学習すべきことや必要なスキルを知ることができます。

働く大人の姿から働く思いを感じ取り、三重で生き生きと活躍できる職場があることへの理解を深めます。

関係者の声

学校

職場体験の報告に来る生徒の興奮した様子から、子どもたちの中に変化が起きていることを実感しました。

保護者

食品メーカーでの密着体験を経て、ご飯を残さず食べるようになりました。働く人の思いを感じ取ったようです。

事業所

参加した小学生からの素朴な質問に、今まで当然のこととして行ってきた仕事の基本を再確認することができました。



## 地域がつくる世代を超えた学びの場

## ◆ 地域が応援するキャリアアップセミナー ◆

大学や商工会議所がつくる世代を超えた学びの場

企業経営者や大学教授等から社会の動きや最先端の情報、三重の環境等について学びます。また、それをもとに、世代を超えて子どもたちがグループで話し合い、学びを深める取組です。

### 活動の成果

- 地域の魅力を発見する機会になります。
- 自らの将来について考えるきっかけになります。
- 様々なことに挑戦しようとする気持ちが育まれます。

世代を超えて地域について語り合うことで、地域や自分、人とのつながりについて考えを深めます。

参加した子どもの声

中学生

自分の意思をしっかりと持って周りを見ることができるようになりたいと思いました。

高校生

周りの人の役に立ち、笑顔で「ありがとう」と言ってもらえる社会人になりたいと思いました。

大学生

多くの中高生と話す中で、中高生の柔軟な考え方や発想力の豊かさに驚かされました。





# 今後の三重のキャリア教育を推進するために **つなぐ**

## 学校の先生方へ

### 各教科をキャリア教育の視点でとらえ直して **つなぐ**

総合的な学習の時間や特別活動だけでなく、日常的にキャリア教育に取り組むために、各教科の内容をキャリア教育の視点で見直してみましょう。授業での学びが社会とどのようにつながっているかを子どもたちに伝えることが大切です。



#### 大切なことはなに？

- 授業の中で子どもたちが地域・社会を感じる場面をつくりましょう。
- 問題解決に取り組む場面をつくりましょう。

子どもたちが学校での学びと自分の将来や社会とのつながりを意識できるようにしましょう。校種を超えて子どもたちの成長をつなげていきましょう。

### 小・中・高等学校の学校段階を **つなぐ**

異年齢の子どもたちが交流を持つことで、人間関係を築く力を育むことができます。子どもたちが自分の将来への視野を広げ、学習意欲の向上や生活全般の改善につながられるよう、異なる校種と連携し、見通しをもった指導を行いましょう。



#### 大切なことはなに？

- 互いの学習内容を知ることで、連携の糸口を見つけましょう。
- 各校で取り組みやすいところから始めましょう。

## 保護者の皆様へ

### 学校の学びと家庭を **つなぐ**

子どもたちが学校でどのような学習をしているか関心をもっていただき、学校での学びが家庭での生活の中にも生かされる機会をつくるようにしましょう。



#### 大切なことはなに？

- 子どもたちと対話をする時間をつくってください。
- 行事や授業参観等の機会を利用して、学校へ子どもたちの様子を見に行ってください。

学校の学びを家庭で振り返る環境づくりに協力をお願いします。

### みえの学力向上県民運動 家庭における6つのアクション

- 子どもを認めて、チャレンジを応援しよう
- できたことをほめて、子どものやる気を高めよう
- 家庭で子どもに役割を与えよう
- 生活リズムをととのえよう
- 読書をとおして語り合おう
- 学校の応援団になろう



## 地域の皆様へ

### 子どもたちと地域・社会を **つなぐ**

価値観が多様化する現代社会においては、学校・家庭・地域が一体となって、多様な主体で子どもたちを育てることが、子どもたちの大いなる可能性を広げることにつながります。



#### 大切なことはなに？

- 職場体験やインターンシップをとおして、働く姿を子どもたちに見せてください。
- 本物に触れる機会をつくってください。



子どもたちの成長が、地域の活性化につながります。

## 問い合わせ先

三重県教育委員会事務局 高校教育課キャリア教育班

TEL: 059-224-2913 FAX: 059-224-3023 E-mail: kokokyo2@pref.mie.jp